

## 追加履修コースについて

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻では、学位取得を目指す学位コースに加えて、当研究科の推進する特色ある人材育成、資格や称号が付与される追加コースを設けています。

追加コースでは、通常の修了要件となる履修科目に加えて指定科目を履修していきます。追加コースを履修する学生は、時間的に密なカリキュラムになる一方、他大学では得られない教育や経験を得ることが期待できます。各追加コースの履修には選抜試験等の履修条件があるコースがあります。追加履修コースでの履修を希望する場合は、出願前に必ず予定指導教員と相談をしてください。 詳細は各追加履修コースのホームページ（本研究科ホームページの右列バナーなど）等をご覧ください。

### 1) 卓越大学院プログラム

令和元年度（2019年度）より採択された文部科学省大学院プログラムです。「情報・生命医科学コンボリューション on グローカルアライアンス卓越大学院（CIBoG）」と題され、情報科学と生命医科学の修養を基に次世代の個別化医療想像し、社会実装する優れた研究者をアカデミア（大学や研究機関）や企業、行政などへと送り出す人材育成プログラムです。

履修は、入学後の履修者選抜試験を経て決定されます。前期・後期課程を含めた5年一貫プログラムですので募集対象は前期課程1年生です。

### 2) リーディング大学院「ウェルビーイング in アジア」

本プログラムは、さまざまな発展段階にある多文化社会アジアにおいて解決すべき課題である貧困問題、多様な健康問題、ジェンダー格差等に深く関わる「食・健康・環境・社会システムと教育」をキーワードに、ウェルビーイングの実現に資するグローバルに活躍する女性リーダーの養成を目指します。履修は、入学後の履修者選抜試験を経て決定されます。前期・後期課程を含めた5年一貫プログラムですので募集対象は前期課程1年生です。

※ウェルビーイングとは：個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること

### 3) トータルヘルスプランナー（THP）コース

名古屋大学ではトータルヘルスプランナー（THP）養成コースを、平成19年4月より大学院医学系研究科博士前期課程において開講しています。このコースは、少子高齢社会を包括的に支える健康増進モデルを開発・推進する人材育成を目的に、専攻、研究科、大学の枠を超えて、研究と有機的つながりを持つ教育プログラムを展開しています。THPでは看護学専攻、リハビリテーション療法学専攻を中心に、地域で暮らす人々がより健康な高齢期を迎えるための社会基盤を、多職種協働により構築する人材を育成します。大学院終了後は、地域における保健・行政職、訪問看護・訪問リハビリテーション実践家、病院における退院調整担当、医療・研究機関における臨床研究者および疫学研究者としての活躍が期待されます。

### 4) 医学物理士コース（医学物理士認定機構）

医学物理士（物理士）は、放射線技術や理工系の知識・研究経験を活かして、医学および医療に貢献する比較的新しい医療職です。主に高精度ながん放射線治療の分野で物理士に対する注目度や二-

ズが高まっていて、活躍の場が病院・教育研究機関・企業等へ広がっています。物理士になるには、医学物理士認定機構の試験に合格し、臨床経験を積む必要があります。医用量子科学分野に設けられた医学物理士コースでは、医学物理士認定機構が定める医学物理教育ガイドラインに基づいて編成したカリキュラムを履修します。

#### 5) その他

本研究科による追加コースのほかに、専門職団体の認定制度に関連する履修科目があります(日本看護協会による専門看護師(CNS)など)。